

2024年度 保育所・保育士の自己評価

まつやま大手町保育所
評価責任者 園長 岡田 真由美

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。
この事を踏まえ、まつやま大手町保育所ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図る為、保育所及び保育士の自己評価を実施しました。
今後はこの結果を踏まえ、次年度の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していく事で、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や 地域の皆様との信頼関係がより良く深まるよう努めてまいります。

2024年度、保育所及び職員の自己評価についてご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。
職員が1年間を振り返り、評価をする事で新たな課題を見つけ、園の運営や経営に役立てればと考えております。
引き続き、来年度も職員一同、心を1つにして未来ある子ども達のために笑顔あふれる保育に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

まつやま大手町保育所の自己評価

【評価の基準】								
	A	大変良くできている						
	B	できている						
	C	概ねできているが、今後に向けて改善する余地がある						
	D	できていない、要改善						
項目	評価内容			評価				
に保 つ育 い て 標	①	保育方針・保育目標は職員間で共通理解を図っている。			○			
	②	保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えている。				○		
	③	目標は前年度の反省を活かしている。			○			

○評価の根拠●改善策

○保育所保育指針に基づき、全体的な計画・年間指導計画・月案・週案・日案を作成している。
○引き続き、主任保育士を中心とし、日々の子どもの成長を捉えたり、課題の発見や改善などを見つけやすくしたりできるきっかけ作りとなうような研修を考え、実施する事ができた。フォローが必要な所は、気が付いた職員でカバーし、目標が活かされるような保育に向けて取り組んでいると思う。取り組んだ保育内容が子ども達の成長として反映されるよう、日々職員全体で考えていきたい。
○職員の退職により、保育士人数の関係から1.2歳児混合クラスの複数担任で初めて運用。当園の特徴である「遊び」に着目し、必要な援助や環境の提供をするという当園の特徴を鑑みたと、課題があった事から、発達や子ども達の成長に合わせた保育の提供の大切さを実感できたと思う。
●職員の入れ替わりがあったので、園の方針や保育内容について共通理解ができているか、確認できる研修を入れていく。

項目	評価内容			評価				
	A	B	C	D				
保 育 内 容 に つ い て	①	計画指導は乳幼児の実態に配慮して作成している。			○			
	②	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。			○			
	③	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。				○		
	④	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。			○	○		
	⑤	素材・用具を適切に活用しているか。			○			
	⑥	園内研修や評価結果を基に保育の改善に努めている。			○			

○評価の根拠●改善策

○月齢に見合った成長発達の段階をしっかりと把握し、見合った保育ができているかどうか、考え方の乖離がないよう、引き続き、勉強会や個々の面談を根気よく実施していく。
○保育士同士がお互いに意見を出し合い、子どもたちの姿を多面的にとらえていけるようにする意識が定着してきていると感じる。しかし、まだまだ個々のスキルに差がある為、その乖離がなくなるよう努める。
●一昨年から継続して行っている「考えただけの環境を用意するだけでなく、提供した環境を子ども達と一緒にどう使っていくのか考える」という課題は、まだまだ課題が残るので、来年度も継続するべき課題として取り組んでいく。スキルの応じた主任主導の勉強会や必要となれば、随時個々での面談ができる環境を作っていく。
●環境構成を考えてから展開させるまでが遅いため、提供する頃には子ども達の興味・関心が違う方向になってしまわないよう、短期・中期・長期プランでスケジュールが立てられているか確認を定期的に行っていく。

項目	評価内容			評価				
	A	B	C	D				
食 育 に つ い て	①	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践している。			○	○		
	②	旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしている。			○			
	③	評価結果を元に食育の改善に努めている。			○			

○評価の根拠●改善策

○屋外遊戯場でできたブルーベリーのジャム作りやバレンタインのチョコ作りの簡単な調理体験はできたが、給食の食材の下処理や買い出しのお買い物体験を経験できたが、もっとできる機会があったかと思われる。
○季節や献立に合わせてホットプレートや大皿で可愛く盛り付けたり(手作りおやつ)、おでん用鍋での給食提供を行ったり、園外での芋ほり体験をしたりと子供たちの食への意欲につながる事ができた。
●夏野菜の栽培・収穫も植えるまでは良かったが、植えてから以降の収穫までの世話やその経緯を楽しめるよう工夫していく必要があった。来年度はその過程が子ども達にとって発見や学びがあるよう環境を考えていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保育・行事について	① 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか。	○			
	② 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。		○		
	③ 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めている。	○			
	④ 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	○			
	⑤ 保護者の願いや意見を取り入れている。		○		

○評価の根拠●改善策

○定期的な勉強会で随時、各年齢ごとに子供たちの育ちを捉えながらその活動が年齢に見合ったものであるか、適切であるかを精査している。
 ○無理のない活動ができるようにしているか、行事も保育士の思いだけで、子どもの興味・関心から引き出せていない点は反省しなければならない。子どもが何に興味・関心があるのか、子どもの声をしっかり聞き、姿をしっかり見ていく必要がある。
 ○毎年実施している保護者アンケートを基に、保護者からの願いや意見を取り入れている。また、送り迎えの時には直接話をする等して意見を取り入れて反映させる事ができている。
 ●公開保育等の行事に仕事の都合で参加できない家庭への配慮が足りず、参加は任意であるにも関わらず、そういう参加できない事が負担だったという気持ちにならないようにしっかりフォローができていなかった為、来年度はそういった思いを払拭できるよう改善していく必要がある。また、アンケート結果から保護者にはそう感じていない方もいたので、保護者の思いとなぜ乖離があったのか検証し、改善していく。
 ●季節時の行事や月1回程度実施している公開保育は、日頃子供たちが楽しんでいる活動から取り入れ、「行事だから」ではなく「日ごろの保育の延長上に行事がある」ことを目指している。年間通して、園として目指している保育を保護者の方に見てもらえたがと思うが、準備不足の為、長期計画で遊び込めるまでには至らなかった点は否めないで、年間スケジュール及びその行事のLDを決め、段取り・調整しやすいようにする。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
組織・運営	① 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜むことなく施設の運営に携わっているか。		○		
	② 職員間の連携がとれ、報告・連絡・相談等ができ、協働できる体制になっている。	○	○		
	③ 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○	○		
	④ 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に行っているか。	○			
	⑤ 打ち合わせ回数・時間・内容は適切か。	○			
	⑥ 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
	⑦ 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○			
	⑧ 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	⑨ 評価・資料(記録)を集積しているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○今年度は保育士人数が例年より少ない人数での運用となったが、短時間パートの保育士が、行事や園外保育では臨機応変に対応してくれた事で、少ない人数でも園外保育のようなイベントも円滑に運用できた。
 ○月に1回のCATV番組の『まつやま大手町保育所通信』の企画は若手保育士に任せる事ができた。
 ○定期的な勉強会や月1回の職員会で、職員間の情報共有や保育のすり合わせを行っている。
 ○イベント行事のLDのフォローは周りがしっかりできているが、LDとなる保育士の段取りや采配が上手くできず、フォローに入らないといけないう状況が何度かあったので、改めて、LDとしての立ち位置や采配について学ぶ機会を実際にする事で、経験値を上げ今後しっかり身に着けてもらう。
 ●今年度は職員人数の関係で1.2歳児混合クラスの複数担任という運用を初めて試みた。混合クラスは担任間の連携や提供する保育内容のバランスの難しさもあった。1年通してどうだったか検証し、今後同じように混合クラスになった時に洗い出した内容が活かされるよう取り組んでおく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保健・安全指導	① 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。		○		
	② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○		
	③ 保育士・調理員が連携し、アレルギー児や提供方法等に対応する環境・体制にあるか。	○			
	④ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
	⑤ 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○アレルギー児2名の食器の個別化を徹底し、除去食メニュー(松山市公立保育所メニューから該当アレルギー食材を除去)を2人以上の確認チェックを行い、誤飲なく安全に提供できた。
 ○年2回の健康診断(内科・歯科検診は共に6月と12月に実施)、毎月の身体測定を実施。
 ●避難訓練の年間計画に沿っての実施から、内容の再精査の必要性ありと感じたので、来年度はまつやま大手町保育所に合った安全計画に内容イブッシュアップして予定。
 ●交通安全指導・避難訓練の年間計画をを基に対策・訓練の実施。安全計画。避難訓練が後倒しとなる月があったのは反省しないといけないう。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内外研究・研修	① 研修・研究は保育目標の具体化につながるものであるか。	○			
	② 所内研修の計画・運営は適切か。	○			
	③ 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。		○		
	④ 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。	○			
	⑤ 各種研修会・講習会等での内容を所内に報告・還元しているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○職員の入替もあるので、改めて当園の保育理念や提供する保育の方向性や乖離がないような研修をしていながら、保育スキルの底上げと日々の振り返りの徹底を行なう。
 ○主任が中心となって実施した園内研修は、その時に必要な子どもへの関わり方や言葉かけの配慮や提供すべき具体的な保育内容を共有したりして、保育の質の向上及び自己研鑽に努めてもらえるよう配慮したがまだまだ課題が残るので、修正していく。
 ○職員も中堅クラスの職員となって来ている事から主任主導であったイベントも若手の保育士に任せられるようになりつつあるので、引き続き、移行していく。月1回放送されるCATV番組の『まつやま大手町保育所通信』は若手保育士に任せている。
 ●各保育士がどういった研修を受けたいかのヒアリングを行い、該当する園外研修には積極的に参加できるようにしていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内情報	① 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			
	② 公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○			
	③ 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点で、細心の注意を払い取り扱っている。
 ○保育業務として知り得る情報や文書の内容等に関しては、職員会等で全員(参加できないパート保育士は個々に)に周知し、個人情報に関する書類等は鍵付の棚で保管する等の配慮をしている。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
施設・設備	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			
	② 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○			
	③ 掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○遊具や玩具の点検(チェックシートの作成)や消毒を行い、整理整頓を定期的に行っている。
 ○感染症の流行の進捗状況や保護者へのお願い等の掲示は口頭以外での周知に役立っている。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園外交流・情報	① 積極的に地域の文化や生活に触れ、地域との関係が適切に保たれている。	○			
	② 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
	③ 事業所職員の保育体験及び保育施設見学会を受け入れる時は、その目的や目的や意義を理解・確認しているか。	○			
	④ 保育所から各種便りを定期的に発信しているか。	○			
	⑤ 保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報を提供しているか。	○			
	⑥ 医療機関・児童相談所等の専門機関及び提携園について保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○新たな交流として、愛媛大学馬術部の学生、済美高校チアリーダーの学生との交流を持つ機会があり、交流の輪を広げる事ができ、子ども達にとっても貴重な経験をさせてもらう事ができた。
 ○公共機関を使つての園外保育を実施したり、園の特徴でもある積極的な園外活動を多く持った年となった。
 ○CATV本社との合同イベントを実施できた。(七夕の笹飾り作・花の苗植え作業・もちつき・Xmas会でのサンタ&トナカイ役のお願い・もちつき大会参加等)
 ○CATVの地方チャンネルで、毎月の公開保育等や子ども達の園での様子をチャンネルにて、月1更新で放送してもらう事で保育所の様子を知らせてもらう機会を増やす事を今年度も継続できた。
 ○事業所である愛媛CATVの社員研修の一環に保育所体験(2024年度は2名参加)を行ったり、他企業・学生からの保育所見学を会社説明会時に見学したり、WEB撮影にて受け入れたりしている。
 ○毎日、ホームページにて園生活を公開し、より多くの人知ってもらえるように具体的に園での様子を見てもらえるよう、オープンにしている。
 ○松山市・保育幼稚園課からの周知事項や園だより等の各種たよりを定期的に保育所側から発信している。
 ○保護者からの要望があれば、関係機関と連絡し、情報を提供する事ができる。
 ●食育を兼ねた食材の買い出し等は少なかつた点は来年は改善したい。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
評外評価部	① 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○			
	② 苦情解決の体制づくりはできているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○保護者アンケートを実施し、改善の努力をしている。
 ※当園では第三者評価は導入していません。

2024年度 まつやま大手町保育所の保育士の自己評価

【評価】

- A おおむね達成できている
- B 達成に向けて取り組んでいるが、まだ課題が残る
- C できていない

【回答者】

保育士7名

項目	業務内容	評価内容		
		A	B	C
保育について	① 園の保育方針を理解して実践しようと努めている。 ※クラス担任の保育士は園の保育方針を理解して、各年間保育計画・月週案の内容や目標等を立て保育に従事できたか。 ※クラス担任でない保育士はクラス担任(常勤)の保育実践が円滑にできるように努めたか。	6 /7	1 /7	
	② 子どもの姿を的確に捉え、保育に必要な記録資料などの作成と活用を効果的に行っているか。 ※クラス担任でない保育士は、各クラス担任の上記内容ができるよう、協力できたか。	3 /7	4 /7	
	③ 子どもの成長発達について理解と認識を持ち、個々に応じた適切な対応ができているか。	1 /7	6 /7	
	④ 計画立案に基づいた保育、クラス運営をしているか。 ※クラス担任でない保育士は担任保育士や全体を見てフォローができるよう意識しているか。	5 /7	2 /7	
	⑤ 日々の反省を活かした計画立案や保育実践がなされているか。 ※クラス担任でない保育士は、毎月の保育反省の提出をしているか。	5 /7	2 /7	
	⑥ 子ども一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持ってかかわっているか。 ※クラス担任でない保育士は担任保育士が上記保育ができるよう情報の共有やフォローができているか。	2 /7	5 /7	
	⑦ 子どもの発達を促すための環境作りやかかわりを心がけているか。	4 /7	3 /7	
	⑧ 子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境作りや援助を行っているか。	5 /7	2 /7	
	⑨ 玩具や遊具の安全確認・消毒及び掃除・整理整頓に努めているか。	7 /7		
	⑩ 子ども達の手本となるような言葉づかいや立ち居振る舞いを心がけているか。	7 /7		
安全管理	① 保育中の子どもへの配慮(かみつき・危険な行動等)	6 /7	1 /7	
	② 園外保育における人数確認及び安全確認ができているか。	6 /7	1 /7	
	③ 園児の状態を指針・問診できているか。(表情・怪我・体調等)	7 /7		
	④ 遊具・備品等の及び安全確認・感染対策	6 /7	1 /7	
接遇・保護者対応	① 好感の持てる態度で保護者や見学者・来客等に明るく丁寧な対応ができているか。	7 /7		
	② 保護者等の話をよく聞くなど、コミュニケーションをとり、安心して相談できる関係作りに努力しているか。	5 /7	2 /7	
	③ 保護者に対し、子どもの様子を分かりやすく伝えているか。(おたよりノート記入も含む)	5 /7	2 /7	
	④ 必要な情報を収集し、自分の実践に活かしているか。	4 /7	3 /7	
職務	① 上司や先輩の指導・助言を受け入れ、実践しているか。	5 /7	2 /7	
	② 組織の規則や手続き、職場のルールを守って職務に取り組んでいるか。	7 /7		
	③ 服装や身だしなみを整え、丁寧に礼儀正しい対応をしているか。	7 /7		
	④ 職員間の必要な連絡・連携・報告はとれているか。	6 /7	1 /7	
	⑤ 与えられた仕事(日常・行事・雑用等)はきちんとできているか(正確さ・提出期限)。	5 /7	2 /7	
	⑥ 組織の一員である事を自覚し、周りの仕事にも自主的に協力しているか。	6 /7	1 /7	
	⑦ 自己の体調を管理し、他の職員に迷惑がかからないよう努めているか。	7 /7		
	⑧ 職務上、知り得た情報の守秘義務の遵守し、子どもの人権に留意しているか。	7 /7		
その他	① 問題意識を持ち、専門書を読んだり情報を収集したりして、自己の保育力の向上に努めているか。	4 /7	3 /7	
	② 積極的に研修や講習に参加する等、保育について何らかの自己啓発(自己研鑽)に取り組んでいるか。	3 /7	4 /7	
	③ 新しい仕事や困難な仕事にも、失敗を恐れず、前向きに取り組んでいるか。	4 /7	3 /7	

総合評価(保育士コメント一部抜粋順不同)

- ・年齢に応じた発達段階や個人差を考慮しながら保育を行っていく事を心掛けた。特に低年齢であれば個人差は大きく、一人ひとりに合わせた保育が大切になってくる。保育所という集団の中でも個々をしっかりと意識して柔軟な対応で保育していく事ができたと思う。
- ・小さい保育所だからこそできる事という事で、今年度の後半から「繋がる」というテーマで、色々な地域の人とかかわりが持てるように動き始めた。いつもと同じ「安定性」も大事だが、新しいエッセンスを加える事も大事であると思う。次年度もそのテーマを継続して保育を行ってきたい。
- ・安全管理と接遇、与えられた職務は、前向きに努力して概ね達成できたと思う。子どもの姿を的確に捉える事、またその子その子の発達について正しく理解し、適切な対応をするという事においてはまだまだ力不足を感じている。
- ・0～2歳児の成長は目を見張るものがある。日々、常勤保育士と情報を共有しながら、気になる点は積極的に質問し、子どもの成長の手助けとなる関わりが出来るよう努めていきたい。
- ・今年度は複数担任で、1.2歳児クラスを持つことになり、1.2歳児合同で保育を行った。合同保育にはメリット(異年齢児での関わりで社会性や言葉が育ち、成長していく過程で良い刺激となる等)とデメリット(月齢の違う子、皆が楽しめる保育活動を提供するのが難しい、安全面で配慮が必要等)がある。発達や興味の差を埋める為に、どう保育をしていけば良かったのか、難しい所ではあった。担任同士で話をしている時に「こういう所がある」「その子の成長を考えると、こういう所を伸ばしていくにはどうしたら良いか」といった問題提起はできるものの、そこから「こうしてみよう」という考えを深掘りせず、考えるだけで終わってしまった事が多かったのは大いに反省しなければならない。
- ・複数担任だからこそ、もつとできた事やお互いに話し合っって連携し合い、より良い保育の提供ができたのではないかなと思う。
- ・0歳児は情緒面でも大きな発達が見られる時期。身近な大人との付き合いが深まる事で、安心感を持って甘えたり自分を表現できるようになる。そのペースとなる愛着関係をしっかりと記事手いけるよう心がけていった。また、0歳児だからこんな事をするのは難しいだろうという「出来ない事」にフォーカスするのではなく、どうすればできるようにサポートできるかを考え、色々な経験ができるよう心がけていった。
- ・今年も園外保育に行く機会が多くあり、安全面において職員間で声をかけあって動く事を意識していたが、全体を見て自分ははどう動いて、配置等はどこへ行けば良いのか等、まだ配慮が甘い部分もあるので、さらに意識していきたい。
- ・子ども達の現状はどうか、という課題があるのか…という所ばかり見て、そこからどう関わっていくのか、具体的な援助や見通しが持てていなかったと感じる場面が多々あった。そこがしっかりとっていないと、周りの保育士にどうアプローチをしていくか聞かれても答える事ができない。また、普段の遊びからイベント行事(公開保育)へと繋げていく事も課題だ。
- ・主任としては、園全体の保育を客観的に見て、その時々で必要なアドバイスをしたり、勉強会でのそのないようを盛り込み、それぞれの保育士が自分自身の保育を振り返る事ができる機会を設けていった。また、自分自身も研修や専門書等から自己学習を行い、「保育所の当たり前を、見直す」というテーマでより楽しく、より良い保育を行っていく事ができるよう取り組みをスタートしている。
- ・『行事があるからこの遊びを』ではなく、『この遊びが好きだから取り入れよう』とできるようにしていかなければならない。また、大きな行事では、段取りが悪く、準備物等の割り振りが上手く采配できなかった為、自分の中に抱え込んでいっぱいいっぱいになってしまい、最終周りにフォローしてもらうようになってしまった事は反省点である。全体を見る事、進捗を確認する事ができるよう、期日を決めて進められるようにしたい。
- ・今年度は短い勤務の為、時間内で担任等の手伝いや作り物等をできるだけやろうと心掛けたが、時間があまりなく、力になれていたのだろうかと思う所はある。
- ・子どものかかわりについては、固定曜日で勤務している自分だと、祝日等で休みとなった場合、1週間以上会えない事があった。その際、成長している姿が見られ、子ども達が以前と違う所が見られたりして関わり方に悩む場面もあった。担任と話したり、先生達の関わり方を見ながら声掛けや援助を行ったものの、先生によっては関わり方や促し方の違いがあった為、どう接すれば良いのだろうか戸惑う時もあった。もつと、細かく担任に質問して擦り合わせる事ができてはいるのではないかと反省する。
- ・成長発達に応じた対応、言葉がけをしようとしていくと取り組んだが、個々の成長や個性に向き合い、対応する事が難しかった場面があった。気持ちを汲み取るよりも、ささようとしてしまった為に、したくなる保育から離れてしまったように思う。『したくなる』『食べなくなる』ように楽しさを共感して、気持ちを盛り上げる関わりを、目の前の子どもと合わせて行う事を意識し続け、補助したいと思う。
- ・保育日誌や担任保育士に子ども達の様子を聞き、朝の受け入れ等を行ったが、気持ちが上手く汲み取れない事があった。短時間勤務であっても、子ども達の気持ちを掴む遊びや関わりができるよう、スキルアップしていきたい。

【園長総評】

今年度もあとわずかとなりました。子ども達が笑顔で大きな怪我もなく元気で過ごすことができているのも、日頃の保育所の運用にご理解いただいている保護者の皆様のご理解とご協力があってこそだと改めて感謝しております。

今年度は、CATVの社員の方とのコラボ企画(苗植え、七夕、もちつき大会)をはじめ、愛媛大学の乗馬クラブの馬舎見学、済美高校のチアリーダーとの交流、大五木材への訪問等、地域との交流を多く持ち、色々な方との触れ合いや交流が楽しめた1年だったと思います。また、公共機関を利用した園外保育も実施する事ができました。日々の遊びや生活を通して多くの経験ができたのではないのでしょうか。感染力の強いRSや手足口病が園でも流行りましたが、それ以外の風邪等の感染症を罹患し、欠席する子ども達も少なく、抵抗力や体力がついてきたと感じた年でもあったように思います。

さて、2024年度の保育士自己評価の総評としましては、評価項目の『保育について』ですが、見通しを持った保育に対して思う所があった職員が多かったようです。定期的に行う勉強会で、子ども達の今抱える課題や今後の見通しについての職員間の耳合わせを行いました。定期的に行う勉強会等を通して、子ども達の成長や今後の成長を見越したかかわり方や援助について、保育士間での擦り合わせを行い、提供する保育が同じ方向かより考える時間を設けました。また、自身の実践している保育と向き合い、子ども達の発達や成長に見合ったものなのか、今、目の前にいる子ども達の興味・関心はどういったものかを考えて保育を提供できているかどうか…。本来はその深掘りして考えた保育を実践してどう変化があったか、子ども達にとって良い成長となったか、「楽しかった!」と満足した活動ができていたか(そこで何が育ったか)しっかりと見極めながら、様々なアプローチ方法を考えて取り組まないといけないのですが、そこまで考える余裕がない職員も見受けられたので、そこが来年度の課題だと考えます。

また、今年度は初めて混合クラスでの複数担任という運用を試みました。保育士自己評価のコメントにもありますが、乳児期の学年が1つ違うだけで、遊び方や興味・関心の内容にかなりの差があります。そこを踏まえた保育の提供をするという点においては、保育実践のスキルを上げていかないといけないといけないと学ぶべき事が多くあった1年だったのではないのでしょうか。

さらに、新しい企画(CATV番組のまつやま大手町保育所通信、CATV本社社員とのコラボ企画)の内容を主任以外の若手保育士に考えてもらい、形にして実践できるようにしました。職員には、これからも常に新しい何かを子ども達に経験させてあげたいという気持ちを持ち続けて欲しいと思っています。

さて、来年度の課題としては、計画立案に基づいた保育・クラス運営をしているかという部分が前年度に比べると改善されていますが、保育士の一方的な思いが強すぎて、大きな行事では子ども達の興味関心と乖離があったのではないかなという事もありました。指導計画作成の際には、保育士の一方的な働きかけではなく、その時々状況で柔軟に対応し、子どもの自発的な活動としての遊びを通して様々な学びが積み重ねられるよう保育にあたって欲しいと思います。温かな視線や子どもへの信頼により、意欲や主体性を育てている保育をしっかりと提供できるよう、頭で考えるだけでなく(=計画立案するだけでなく)、環境構成や保育に関して、日々の保育や行事が子どもの成長過程に基づいた形となっているか、しっかりと職員全体で共有できるように取り組んでまいります。今年度の保護者アンケートではご指摘いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、改善していきますので、引き続きこれからも、保育所へのご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。